

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	藍
住所	福岡県久留米市通東町5番地16 富士ビル304
電話番号	0942 - 35 - 6751

事業所番号	4012701092
管理者名	長 彰純
対象年度	R4年度

## (I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

## (II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		5	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない	○		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

## (III) 多様な働き方(※)

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計(注1)		6	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

## (IV) 支援力向上(※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○	
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度		○	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計(注2)		9	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

## (V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点	25点	40点				5
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					25
支援力向上	0点	15点	25点	35点					35
地域連携活動	0点		10点						10

合計	
115	点 / 200点

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

## (Ⅰ) 労働時間

前年度（ R3年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	14,359.4	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,167	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.53	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

## (Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々年度（ R3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	5,494,344	円	利用者に支払った賃金総額	12,658,415	円	収支	▲ 7,164,071	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前年度（ R4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,370,808	円	利用者に支払った賃金総額	12,799,716	円	収支	▲ 6,428,908	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

## (Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R2年度）における実績（全体表「(Ⅲ)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

## ①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	0名
※取得を進めた免許等：	
制度の活用内容：就業規則第30条を定めとする	

## ②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	0名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
就業規則第31条を定めとする	

## ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間：	
就業時間（在宅勤務）：	
職務内容：	
就業規則第32条を定めとする	

## ④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	●名
※実施した期間：●月●日～●月●日	
就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分	
職務内容：○○○	

## ⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	●名
※実施した期間：●月●日～●月●日	
就業時間（短時間）：●時●分～●時●分	
職務内容：○○○	

## ⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	●名
※実施した期間：●月●日～●月●日	
就業時間（早出の場合）：●時●分～●時●分	
就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分	
職務内容：○○○	

## ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	0名
◎計画的付与制度を活用した人数	●名
※取得した制度：有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>	
計画的付与制度 <input type="checkbox"/>	
就業規則第10条の3を定めとする	

## ⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	2名
就業規則第10条の4を定めとする	
※取得した内容：事故後の療養	
取得した期間：R4 7月14日～7月21日	
就業時間：9時45分～15時15分	
職務内容：工場清掃、ビル清掃、カフェ業務 デイサービス食事提供	

（※）当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

## (Ⅳ) 支援力向上

前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅳ)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

## ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎研修実施回数 外部 5回/内部 2回	
対象職員数 7人	
うち研修受講者数 6人	
※研修名 自閉スペクトラム症について学ぶ会	
研修講師 言語聴覚士木下・野間	
実施日・受講者数 2月16日 95人	

## ②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	1回
※研修、学会等名 松岡病院研修会	
実施日 令和5年1月28日	
※学会誌等名	
掲載日	
発表テーマ 就労支援に作業療法を使う	

## ③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名 A型 まんまる	
実施日/参加者数 12月1日 2人	
※他の事業所名 久留米大学	
実施日/参加者数 10月28日～ 2人	

## ④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	1回
※商談会等名 川の駅スタンプラリー	
主催者名 福岡都市広域行政事業組合	
日時 2022/7/15～11/25	
内容 スタンプラリーの景品として	

## ⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日 R4年10月31日	
人事評価制度の対象職員数 4名	
うち昇給・昇格を行った者 1名	
当該人事評価制度の周知方法 人事考課表に提示	

## ⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間 ●月●日～●月●日	
就業時間	
職務内容 ○○○	

## ⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日 ●月●日	
第三者評価機関 ○○○	

## ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 ●月●日	
規格等の内容 ○○○	

（※）実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	藍
住所	福岡県久留米市通東町5番地16 富士ビル304
電話番号	0942 - 35 - 6751

事業所番号	4012701092
管理者名	長 彰純
対象年度	R4年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所 久留米大学「あのく祭」</p> <p>実施日程 令和4年10月29、30日</p> <p>実施した生産活動 藍かふえコーヒーマグのパッケージ作成と販売</p> <p>施設外就労の概要 久留米大学学園祭にて</p> <p>利用者数 ブースへの購入来客数：140名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>筑後川ブランド大会コンセプト「筑後川流域の特産物や取り組みを広く周知し、自立性・持続可能な地域を創るための取り組み」に参加してきたが、今年度は中止であった。しかし、久留米大学学園祭「あのく祭」の一角で同イベントカフェを開催することになり、大学生を対象とした大会イベントを実施する。</p> <p>学生と一緒に企画し、運営していくことで、客としてだけではなくスタッフとして就労継続支援の取り組みを経験してもらおう。そして福祉事業と彼らの学んでいる地域経済発展を学ぶ材料として利用してもらおう。</p>	 
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>これまで、筑後川ブランドやマルシェなど、同業者や福祉に興味のある方々を対象としたイベントが多かった。今回は年齢層も若く、一般的な若者を対象に「筑後川ブランド大会」イベントを開催できたような形式であった。</p> <p>想定していた80杯を軽く超える結果が出たこともあり、藍かふえコーヒーマグを楽しんでもらうことができた。また、経営・運営を久留米大学学生に担当してもらったことで、A型事業所を知ってもらうきっかけになり、福祉と経済を混合させることの学びのきっかけとなることができた。</p>	 <p>久留米大学 あのく祭 つながるめでのカフェ</p>

## 連携先の企業等の意見または評価

筑後川ブランドコンセプトカフェは、令和4年度に今後の発展を目指して一旦中止となりました。しかしながら、学生の強い要望もあり、久留米大学学園祭「あのく祭」にてカフェとしてイベントを開催することになりました。藍かふえコーヒーマグのように各飲食物、展示物に担当学生がつき、その企業と関わり販売・出展をします。こうやって学生と企業をつなげ、地域経済の発展に寄与する社会人を育てていくことが大きな目的の一つです。藍かふえは今年で3年目でもあり、カフェのコーヒーとして販売しています。カフェを訪れた来客が展示している作品に興味を持ちさらに地域を知る機会を作っています。これを呼び水に藍を知り、来客となっていく流れを作っていたことは非常に効果的であったと判断している。

連携先企業名	筑後川ブランド委員会事務局	担当者名	久留米大学 藤谷岳
--------	---------------	------	-----------